

届出の記載方法等について

栃木県生活環境の保全等に関する条例の一部改正により、平成25年7月1日以降、指定地域において、一定規模以上の揚水施設を設置しようとするとき又は既に設置している場合は、指定揚水施設設置（使用）届出を提出する必要があります。

なお、既に「栃木県地下水揚水施設に係る指導等に関する要綱」に基づき届け出ている施設についても、条例の施行日である平成25年7月1日以降に、指定揚水施設の使用届出を提出する必要がありますので、御留意ください。

1 届出の種類

届出等の種類	届出等の期間
○指定揚水施設の設置の届出（条例第39条の3） 指定揚水施設を設置しようとするときの届出	設置工事開始日の30日前までに届け出ること。
○指定揚水施設の使用の届出（条例第39条の4） 指定揚水施設又は指定地域が追加指定された場合等における届出	指定揚水施設等となった日から30日以内に届け出ること。
○指定揚水施設の構造等の変更の届出（条例第39条の5） 特定揚水施設の構造及びストレーナーの位置、揚水機の吐出口の断面積又は地下水の採取予定量を変更しようとするときの届出	変更工事の開始日の30日前までに届け出ること。（ただし、工事が不要な場合その変更前）
○氏名等の変更届出（条例第39条の6を準用する第10条） 氏名、名称、住所、主たる事務所の所在地、代表者の氏名、指定揚水施設の名称並びの設置の場所に変更があったときの届出	変更した日から30日以内に届け出ること。
○指定揚水施設の使用廃止の届出（条例第39条の6を準用する第10条） 指定揚水施設の使用を廃止したときの届出	廃止した日から30日以内に届け出ること。
○承継届出（条例第39条の6を準用する第11条） 指定揚水施設を譲り受け、借り受け、相続、合併があったときの届出	承継のあった日から30日以内に届け出ること。
○地下水採取量の報告（条例第39条の7） 指定揚水施設により地下水を採取した量等についての報告	前年中の採取量を2月末日までに報告すること。

2 届出書の提出部数

正本1部、写し2部（計3部）

3 届出書の提出先

指定揚水施設の設置場所を管轄する市町村担当課

4 届出書の宛先名

栃木県知事 宛

5 届出の記載方法等について

(1) 様式

	様式の種類		記載における注意事項
条例第39条の4第1項	○別記様式 第8号の2		<ul style="list-style-type: none">・法人の場合は、代表者の印鑑を押印すること。・代理人による届出とする場合には、委任状を添付すること。
	○別紙		<ul style="list-style-type: none">・1枚の用紙に2施設分記入することができる。・同一の別紙が2枚以上になる場合は、右肩部に（No. 1 / 2）、（No. 2 / 2）のように記入する
	別紙1	指定揚水施設の構造・指定揚水施設のストレーナーの位置・揚水機の吐出口断面積	
	別紙2	地下水の採取予定量等	
別紙3	地下水採取抑制要請時における節水の方法等	特別指定地域内において揚水機の吐出口の断面積が45平方センチメートルを超える施設を設置する場合に記載する。	

(2) 添付書類

添付書類の種類	記載における注意事項
○指定揚水施設の位置図	指定揚水施設を設置する場所の位置を示す地図を添付する。
○指定揚水施設の配置図	指定揚水施設の配置場所を示す図面を添付する。
○指定揚水施設の構造図	井戸の断面図（ストレーナーの位置を含む）、揚水機の平面図・立面図（主要寸法を記入）を添付する。

別記様式第8号の2 (第29条の3関係)

指定揚水施設 設置
使用 届出書

・該当する事項以外は、取り消し線で抹消する。

・代表者印を押印する。

平成25年7月〇〇日

栃木県知事 福田 富一様

届出者 住所 栃木県〇〇市〇〇〇〇番地
氏名 (株)〇〇〇〇 代表取締役 〇〇 〇〇

※代理人の場合は、委任状を添付

指定揚水施設の 設置
使用 について、栃木県生活環境の保全等に関する条例 第29条の3第1項
第39条の4第1項 の規定

により、次のとおり届け出ます。

・揚水機が2つ以上ある場合には、別紙のとおり記入し、それぞれ別紙に記入する。

指定揚水施設の名称	〇〇〇〇〇 1号井戸		
指定揚水施設の設置の場所	〇〇市〇〇〇町〇〇〇〇番地 (郵便番号 〇〇〇—〇〇〇〇)		
△ 指定揚水施設の構造	別紙のとおり	△指定揚水施設の ストレーナーの 位置	別紙のとおり
△ 揚水機の吐出口の断面積	別紙のとおり	△地下水の採取予 定量	別紙のとおり
地下水の用途	1農業用水 2水道用水 3工業用水 4建築物用水 5その他 ()		
地下水採取の理由	他の水源に頼るのが困難なため		
△地下水採取抑制要請時における節水の方法等 特別指定地域内において揚水機の吐出口の断面積が45平方センチメートルを超える施設を設置する場合に記載すること。	別紙のとおり		
記載担当者名及び 連絡先電話番号	〇〇〇〇 (〇〇〇〇課) 〇〇〇〇 (〇〇) 〇〇〇〇		
※ 受理年月日	年 月 日	※ 整理番号	※ 備考

・該当する項目を○で囲む。

・届出内容に係る照会に対して、受け答えのできる者の氏名、所属、部課名、電話番号を記入する。

備考

- 1 △印の欄の記載については、別紙によることとし、かつ、できる限り図面、表等を利用すること。
- 2 ※印の欄には、記載しないこと。

指定揚水施設の構造・指定揚水施設のストレーナーの位置・揚水機の吐出口の断面

指定揚水施設の名称	○○○○○○	<ul style="list-style-type: none"> ・1枚の用紙に2施設分記入することができる。 ・別紙が2枚以上になる場合は、(No. 1 / 2)、(No. 2 / 2) の様に記入する。 	
指定揚水施設の設置の場所	○○市○○町○○○○番地		
井戸の深さ (地表からの深さ)		100 m	
指定揚水施設の ストレーナーの位置 (地表からの位置)		40 m ~ 47 m	<ul style="list-style-type: none"> ・ストレーナーが2つ以上ある場合には、それぞれの位置を記入する。
		70 m ~ 77 m	
		m ~ m	
		m ~ m	
揚水機の型式	水中モーターポンプ ○○社製○○○○		
揚水機の揚水能力 (最大吐出量)		42 m ³ /時	m ³ /時
揚水機の定格出力		11 KW	KW
揚水機の吐出口の断面積 (揚水機の吐出口径)		50.2 cm ² (80 mm)	<ul style="list-style-type: none"> ・設置届出の場合には工事着手予定年月日及び使用開始予定年月日の欄に記入する。
工事着手予定年月日		年 月 日	
使用開始予定年月日		年 月 日	<ul style="list-style-type: none"> ・使用届出の場合には設置年月日の欄に記載する。
設置年月日		平成○年 ○月 ○○日	年 月 日
その他参考となるべき事項			<ul style="list-style-type: none"> ・指定揚水施設の構造及び使用の方法について参考となる事項を記入する。 (例) 揚水機の吐出口が2つあるときはその旨を記入する。

備考 設置届出の場合には工事着手予定年月日及び使用開始予定年月日に記載すること。

地下水の採取予定量等

指定揚水施設の名称		○○○○○○ 1号井戸		
指定揚水施設の設置の場所		○○市○○○町○○○○番地		
地下水の採取予定量	1日当たりの最大運転時間	16 時間		時間
	1日当たりの最大採取量	670 m ³ /日		m ³ /日
	年間採取量	150,000 m ³ /年		
	内 訳	4 月 ~ 9 月 平均 400 m ³ /日	10 月 ~ 3 月 平均 600 m ³ /日	月 ~ 月
地下水採取量の測定方法		① 水量測定器 <input checked="" type="checkbox"/> 羽根車式流量計 <input type="checkbox"/> 回転球式流量計 <input type="checkbox"/> 差圧式流量計 <input type="checkbox"/> 面積式流量計 <input type="checkbox"/> 渦式流量計 <input type="checkbox"/> 電磁式流量計 <input type="checkbox"/> 超音波式流量計 <input type="checkbox"/> その他 () ② その他 ()		・ 季節により平均採取量変動する場合には、それぞれの期間による平均採取量を記入する。 ・ 該当する測定方法の番号を○で囲む。 ・ 水量測定器により測定する場合には、該当する流量計の欄にレ印を付け、その他の場合にあっては、その測定方法を () 内に記載する。 ・ 水量測定器以外の測定方法の場合には、2 その他の○を付け、その測定方法を () 内に記入する。
その他参考となるべき事項				・ 2 その他の場合で、使用時間等を基礎として算出する場合にあっては、その計算式をその他参考となるべき事項の欄に記入する。 ○使用時間を算出の基礎とする方法 採取量 = 使用時間 × 揚水能力 ○使用電力量を算出の基礎とする方法 使用時間 = 使用電力量 ÷ 定格出力 採取量 = 使用時間 × 揚水能力

備考 水量測定器については、該当する項目にレ印を記入すること。

地下水採取抑制要請時における節水の方法等

指定揚水施設の名称	〇〇〇〇〇〇 1号井戸	<p>自主的に、可能な範囲で取り組める節水の方法を記入する。 (記入例)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ほかの水源からの使用量を増やし、地下水採取量を〇%減らす。 ・採取した地下水の循環利用を行い、地下水採取を〇%減らす。 ・夜間(午後〇時から翌午前〇時)に配水栓バルブを絞り、地下水採取量を〇%減らす。 ・ポンプの稼働時間を24時間から20時間に短縮し、地下水採取量を〇%減らす。 ・毎週月曜日に地下水採取を止め、地下水採取量を〇%減らす。 ・工場内の部署ごとに、節水日を設定し、地下水採取量を〇%減らす。 ・洗車・散水等の地下水の使用を止め、地下水採取量を〇%減らす。 ・既に〇〇〇(上記内容)を実施しており、これ以上の節水の取組をすることは困難 など 	
指定揚水施設の設置の場所	〇〇市〇〇〇町〇〇〇〇番地		
節水の方法			
連絡方法及び連絡先	① 電子メール	(メールアドレス) 〇〇〇〇@〇〇〇.〇〇〇.ne.jp	
	2 ファクシミリ	(ファクシミリの番号)	<p>() ・連絡方法及び連絡先の欄は、いずれかの方法のうち該当する項目を○で囲み、連絡の取れる方法及び連絡先を記入する。</p>
	3 郵送	(郵便番号、住所及び宛名)	
	4 その他	(連絡方法及び連絡先)	(連絡方法及び連絡先)
その他参考となるべき事項			

備考

- 1 節水の方法の欄に書ききれない場合は、別葉に記載の上、添付すること。
- 2 連絡方法及び連絡先の欄は、1から4までのいずれかを○で囲み、連絡先を記載すること。